

理科の勉強法



授業の受け方

- (1) 休み時間の中に学習用具を準備し、忘れ物はしない。
- (2) ベルが鳴る1分前には着席、黙想し、ベルと同時に始められるようにしよう。
- (3) 板書は内容を確認しながらわかりやすくまとめよう。復習の時に助かります。
- (4) メンバーと協力しながら、安全に留意して、観察・実験を意欲的に取り組もう。
- (5) 課題から最後の結論、まとめまでの流れ、つながりを意識しながら取り組もう。
- (6) 「なぜかな?」「どうしてかな?」と常に疑問を持ち、考えがまとめられるようにしよう。
- (7) 自分の考えをわかりやすく伝える工夫と、相手の考えを理解しようと聴く努力をしよう。
- (8) 気づいたことや大切なこと、疑問に思ったことやわからなかったことは、ノートにメモすしよう。

家庭学習の仕方

～「予習」よりも「復習」に力を入れよう～

- (1) 授業で習ったことは、その日のうちにノートと教科書に目を通し、理解できているかどうかチェックしよう。(わからないところは、メモをしておいて、必ず質問しよう)
- (2) 習ったところのワークブック(よくわかる理科)の問題を解き、理解できているか確認しよう。(授業の中でわかったことと、問題に答えられるほどの理解は少し違います。)
- (3) 「塵も積もれば山となる」1日たった15分でも、毎日続けることが大切。無理の無い長さで、毎日続けられるように工夫しよう。

テスト勉強の仕方

- (1) 理科以外にもたくさんの教科があります。Diary を利用して計画的に勉強しよう。(テスト勉強を必ずやろう)
- (2) まず、自分がどのくらい理解しているかを考えよう。
 - だいたい分かっていると思う人 → 問題を中心に解いていく。
 - あまり分かっていないと思う人 → まず、教科書やノートを読むことから始める。
- (3) 観察・実験を中心とした問題が出題されます。教科書にある重要な観察・実験については、内容や考えをまとめるだけでなく、目的・準備(器具名など)・実験方法なども整理しておこう。
- (4) 重要語句は、なるべく漢字で書けるようにしよう。

受験勉強の仕方

- (1) まず、「ものはためし」です過去問(過去の県立高校の入試問題)を解いてみよう。入試問題は、1～3年の範囲がバランス良く宿題されています。習った範囲のものはできる問題があるはず。探して、解いてみましょう。
- (2) 1、2年の学習内容が70%近く出題されます。1年の時から受験を意識して学習に取り組もう。
- (3) 問題集1冊を完璧に分かるようになるまで何度もやろう。さらに、基礎力をつけた上でさまざまな類題に挑戦してみよう。
- (4) 用語の暗記だけではなく、自然の事物・現象を図や言葉、文章で説明できるようになろう。